

徳島県立小松島高等学校 平成22年度前期選抜 実施要領

1 学校の特徴

小松島高校は、昭和6年に開校し、平成22年には創立80年目を迎える伝統ある普通科高校で、豊かな実績に新たな理想を重ね、地域と共に歩み、地域の期待に応える「元気な学校」です。平成15年には校舎も改築され、快適な環境のもとですべてのことに「全力」で取り組んでいます。

進路指導においては、生徒の意欲を喚起し、国公立大学進学から就職まで個に応じた幅広い進路希望の実現に向け、一人ひとりのニーズに応えられるよう教育課程や選択科目にも工夫を持たせ、希望者には毎日補習を実施したり、進路や生活面での相談にも対応できる体制を組み、個々が描く「夢の実現」に向けた取り組みを行っています。

部活動においては、「努力、継続、絆」をモットーに、生徒は大変はつらつとし、活発に活動しています。毎年、四国大会や全国大会にも多くの部が出場し、実績を残しています。

また、生徒会を中心に小松島横須海岸の松原の管理をはじめとしたボランティア活動や、「小松島みなと交流センターkocolo」と連携した地域貢献型体験学習を推進しています。このように小松島高校は、生徒一人ひとりが主役で、学力と個性を伸ばし、たくましく生き抜く力が養える学校です。

2 志願してほしい生徒像

基本的な生活習慣が確立しており、小松島高校を志望する動機と理由が明確であり、入学後も学業や部活動、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動等に励み、人間的に成長しようとする意欲のある生徒。

小松島高校での様々な体験を通じて、さらに自分の可能性に挑戦し、「夢の実現」に向けて積極的に努力のできる生徒。

協調性があり、友人をはじめ、まわりの人々の気持ちを大切にし、行動のできる生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	主体的に学び、更にその力を伸ばそうとする探求心を持ち、自己の進路実現に向け、学習活動全般にわたって意欲的・継続的に努力できる者。
イ	芸術・文化〔音楽（吹奏楽・合唱）、美術、書道、琴〕、体育・スポーツ〔硬式野球、男子サッカー、新体操、ソフトボール、硬式テニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、柔道〕、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動のいずれかで積極的・継続的に活動し、優れた実績や資質を有し、入学後もそれらの活動に積極的に取り組もうとする者。

4 前期選抜募集人員

学 科	出願要件ア	出願要件イ	前 期 選 抜 募集人員合計
普通科	51人程度	25人程度	76人以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。

音楽（吹奏楽・合唱）、美術、書道、琴：5人程度、硬式野球：5人程度
男子サッカー：4人程度、新体操：3人程度、ソフトボール・硬式テニス：2人程度
バレーボール・バスケットボール・卓球：3人程度、剣道・柔道：2人程度
ボランティア活動・人権活動・生徒会活動：1人程度
注）受検者数等により、変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	なし
出願要件イ	自己表現調査票， 中学校時代の学校内外の活動の記録

（注）すべて統一用紙を使用してください。

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校における学習の内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
面 接	個人面接（1人5分程度）

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校における学習の内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：50点】 英語：50分【配点：50点】 計100点
自 己 表 現	具体的内容については，別紙を参照のこと。
活動の記録	(a) 「活動名(分野，種目)」，「活動状況」，「主な実績・結果(各学年2つまで)」等を統一用紙に記入する。 (b) 個人の「活動状況」，「実績・結果」を示す書類(賞状，新聞記事等の写し)があればA4判サイズで添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ
8:30	集合（本校体育館）	8:30	集合（本校体育館）
8:40～ 9:00	諸 連 絡	8:40～ 9:00	諸 連 絡
9:20～ 10:10	数 学	9:20～ 10:10	数 学
10:30～ 11:20	英 語	10:30～ 11:20	英 語
11:30～ 12:20	昼 食・休 憩	11:30～ 12:20	昼 食・休 憩
12:20～ 12:35	諸 連 絡	12:20～ 12:50	更 衣・移 動
12:40～	面 接	13:00～	自 己 表 現

8 携行品

受検票

筆記用具（鉛筆類，定規，コンパス，消しゴム，鉛筆削り，筆入れ）

体育館シューズ及び下足入れ袋

昼食，飲み物

出願要件イの受検者については，「自己表現」の時に必要な用具や作品・資料等

（注）筆記用具は，公式または法則等を記載したもの及び計算機付きのものは使用できません。
また，分度器（分度器付き定規を含む），計算機，電訳機・計算機付き時計及び携帯電話
などの移動通信機器，下敷きは検査場に持ち込めません。

（注）出願要件イの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」をご覧ください。

自己表現の具体的内容

- (1) 自己表現内容
志願者の体験，特技などに基づき，自己表現し，それを話題に面接を行う。
- (2) 時間
自己表現：5分程度（楽器の演奏，体育・スポーツの実技の準備も含む）
面接：個人面接で3分程度
- (3) 自己表現分野，実施場所，分野別検査内容，携行品

分野	実施場所	検査内容	携行品	
芸術・文化	音楽 (吹奏楽・合唱)	多目的教室	自分の得意な楽器の演奏，または，自分の得意な曲の歌唱（無伴奏）	楽器譜面
	美術	多目的教室	自分が制作した作品（5点まで）を持参し，口頭で解説及び実践してきたことを発表する	作品資料等
	書道	多目的教室	得意な書体で書いた半紙・条幅作品（5点まで）を持参し，提出する 当日渡される課題を半紙に書く	書道道具作品
	琴	多目的教室	自分の得意な曲の演奏	琴爪譜面
体育	硬式野球	体育館	30m走，ハンドボール投げ	特になし
	男子サッカー	体育館	30m走 フィールドプレーヤー ... ワンコントロールシュート ゴールキーパー ... シュートセーブ	ボール
	新体操	体育館	長座体前屈 男子 ... 後転跳びから，宙返り技 女子 ... 基本要素(手具操作を含む)	女子は得意な手具
	ソフトボール	体育館	30m走 投手 ... ピッチング 野手 ... ティー台に置いたボールを打つ	グラブバット
	硬式テニス	体育館	反復横跳び 球出しによるストローク及びボレー (フォア・バック)	ラケット
	バレーボール	体育館	立ち幅跳び パス及びレシーブ	ボール
	バスケットボール	体育館	反復横跳び 各種シュート	ボール
	卓球	体育館	反復横跳び 攻撃型選手 ... サーブからの3球目攻撃 守備型選手 ... カット(ツッツキを含む)	ラケット
	剣道	体育館	反復横跳び 中段の構えから打ち込み(基本打ち)	竹刀
	柔道	体育館	反復横跳び 打ち込み	柔道着
ボランティア活動	多目的教室			
人権活動	多目的教室	活動内容について，実践してきたことを発表	資料等	
生徒会活動	多目的教室			

美術，書道で持参する作品の裏面には受検番号を記入し，校長印を押印すること。
硬式テニスの自己表現に使用するボールは硬式球，ソフトテニス球いずれでもよい。

- (4) 多目的教室，体育館において準備できるもの
- ア 多目的教室
- ・キーボード（音取り用），琴，琴台，譜面台，プロジェクター，カセットデッキ，CDデッキ，VTR（VHS）付きテレビ，掲示白板，マグネット，書道用下敷き（大），半紙等書道道具一式
- イ 体育館
- ・体育用マット（縦6m×横1.2m）2本，ソフトボール用ティー台，卓球台一式，生徒用の椅子・机
 - ボール（ハンドボール，ソフトボール，硬式テニス，ソフトテニス，卓球）
- (5) 注意事項
- ア 自己表現の内容は，入学後も生かせるものが望ましく，出願時には統一用紙により申告すること。
- イ 発表に必要な道具類は，原則として受検者が用意する。用意できない場合には，在籍（出身）中学を通じて，本校まで問い合わせてください。
- ウ 体育・スポーツ分野については，携行品以外に体育時または競技用の服装，シューズ（体育館用）の準備をすること。